

2018年 Vol.10-1 (通巻15号)

# ヤマユリ通信

Final Issue  
最終号

## ◆ 今号の主な内容 ◆

- 2018麻生区の開花風景「ヤマユリ百花繚乱」
- 鉢植えの疑問にお答えします。
- 麻生ヤマユリ植栽普及会からのお知らせとお詫び



### 帯化ヤマユリ

今年、まつのき緑地で開花したものです。1株に10～20輪も花を付ける現象で、見るには豪華ですが、花にとっては酷で、あまり感心できません。

肥料分が多いと出現すると言われています。人間でいえば肥満児ですね。



撮影／倉片立

設立10周年！

うれしくもあり  
うれしくもなし

当会の設立は平成21年4月。前身の「市民の会・ヤマユリ植栽委員会」の活動を発展させたものです。会則の前文に記したように、昔あちこちにあった麻生のヤマユリを復活再生し、誰もが簡単に見られるようにしようというのが目的でした。この10年で区内に植栽した成球根は1千球を超え、会員が育成した小球根と併せると2千球になるはずですが、元々は山野草で丈夫なはずなのに、環境の変化に敏感で、ウィルスに弱いため、せっかく植えても翌年には消滅してしまうことも…。さらには盗掘にあたりと、会員の士気がそがれることも少なくありません。

それでも、いつか生まれる君に  
花は花は咲く 私は何を残した  
ろう(※「花は咲く」作詞岩井俊二)と自問しながら活動を続けてきました。

今年の夏は異例の酷暑。そんな中でも、夏の主役ヤマユリはへばっている人間をしり目に、花を咲かせ、実を結び、種子を残してくれました。

今、会員の平均年齢は70歳超。いつまで続けられるか！とため息をつきながら新しい担い手を待っています。



# ヤマユリ繚乱

**梨子ノ木緑地** 今、まさに花を開かんとする瞬間をとらえました。



撮影／高橋雄介



**That's ヤマユリ** 大きな花弁に、黄色い筋と赤い斑点。三拍子そろった、これぞヤマユリ！です。吹込交差点にて。

撮影／倉片立



**一本だけのミニ花壇** 群生するヤマユリは豪華絢爛ですが、こんなヤマユリも素敵です。区役所中庭にて。

撮影／倉片立

今年の夏は異常な暑さに見舞われました。某国大統領は「気候温暖化などフェイクニュースだ」とのたまわれましたが、私には、おまえの存在こそがフェイクだ」と言いたいのですが、皆さんはいかがでしょう。

当会の植栽地も、日照にさらされるおやしろ公園や梨子ノ木緑地は息絶え絶え。樹木に覆われたまつのき緑地や、すぎのき緑地はイキキしておりました。

この影響で、花実（蒴）のつき方もバラバラ。そして極め付きは球根のデキです。

毎年当会に球根を提供してくれる御殿場の山下さんからは8月に「暑さとハクビシンにやられて、最悪」との一報があり、講習会用球根を仕入れるサカタ種苗やタキイ種苗からも、要求数をこなせないとの連絡がありました。

というわけで、毎年恒例の鉢植え講習会もやむなく中止に。

暑くて植栽地に出かけられなかった方々のために、誌上鑑賞会を催行いたします。

はじまり、はじまりイ。



写真提供・修廣寺

**片平の修廣寺山門前** 一時花が途絶えていましたが、再び顔を見せました。





**早咲きのヤマユリ** 片平のKさん宅のヤマユリはひと月早く、6月初旬には開花します。

撮影／倉片立



**白いパナナ!?** いえ、開花前の帯化ヤマユリです。早野で見つけました。

撮影／貞本勉



**早野聖地公園付近** ヤマユリは松と仲良しですが、絵になるのはなんといっても竹林の背景。

撮影／倉片立



**木陰にひっそりと咲くヤマユリ** 散歩の途中で、こんなヤマユリを見つけるとホッとしませんか。市民館裏にて。

撮影／村野民樹

## 鉢植えの疑問に、お答えします

鉢植え講習会に参加いただいた方々から、質問をいただきました。そのすべてにお答えするのは難しいので、典型的なものを選んでお答えします。

### ①蕾を付けたのだが、梅雨のころから枯れ始めてすべて落下してしまった

これは多分ウイルスに感染したものと思われます。ヤマユリに限らずユリ科の植物はウイルスに弱いので、梅雨時などジメジメした季節には注意が必要です。ペンレートなど殺菌剤を噴霧して予防してください。

### ②花は咲いたのですが、よじれているのですが…

これもウイルスに感染したものでしょう。グロリオサ病といい、ヤマユリ特有の病気です。せっかく咲いたので、何とか直したいと思いますが、ほかに感染しないよう、球根ごと処分してください。

### ③きれいに咲きました。開花後の処置はどうすればいいの？

講習会でもお話したように、11月ごろまでそのまま放置してください。茎が完全に枯れたら休眠した合図なので、鉢の上部の土を新しいものに入れ替えます。

埋まっている球根を傷つけないよう、慎重に土を取り除きます。球根を取り出して、上根の下で茎にハサミを入れ、元の位置に戻します。赤玉土と腐葉土を半々に混ぜた用土を補充します。1年目の手当てはこれで完了です。

(写真はH29年受講者・木下加代さんからの提供)





▼写真は一昨年の講習会風景



## お知らせとお詫び

### 鉢植え講習会 中止のお詫び

前ページでも記したように今期は球根のデキが悪く、必要数が確保できませんでした。そのため講習会はやむなく中止といたしました。

以前の講習会で落選され、今期に期待しておられました方には大変申し訳ありません。

球根の入手難は今後も続くと思われる、講習会の再開はいつになるか分かりません。

なにとぞご理解くださいますようお願いいたします。



配布する苗鉢(右)

### ヤマユリの苗鉢 無料でお分けします

当会会員が種から育てた実生苗を麻生区民に無償で配布いたします。前回の無償配布は応募者多数で、会員一同うれしい悲鳴でしたが、枯らさずに育てていただくため、同時に講習会も行います。なお、当会の植栽活動に何回かご参加いただける方を優先いたします。当会の活動に参加すれば、その技術も学べますよ。

配布時期は3月下旬から4月上旬。苗の育ち具合で前後します。正確な配布時期や参加方法は『市政だより』3月1日号または区役所のHPでお知らせいたします。

### 会員募集

## 月1回の活動です ぜひご参加を！

麻生ヤマユリ普及会は麻生区内の公園や緑地でヤマユリの自生と復活を目指して活動を行っています。

その活動内容が地域課題対応事業にふさわしいものとして、麻生区の委託を受けています。活動は4つの植栽地域に分かれてそれぞれのチームを結成し、月1回の植栽維持作業を行います。作業量は「大人の土いじり」程度です。

いきなり会員には、気が重い…という方には好きな時だけ参加できる **賛助会員制度** もあります。お問い合わせは左記事務局までどうぞ。



まつのき緑地での  
作業後 パチリ  
(王禅寺チーム)

### 謹告！ ヤマユリ通信 終刊

平成21年の当会発足から発刊してきた「ヤマユリ通信」ですが、今号をもって終刊とさせていただきます。

拙い編集技術のため

ヤマユリの魅力をシッカリ伝えきれなかったか自信はありませんが、

これまでご高覧いただいた方々に深く感謝いたします。

今後は区役所HP



麻生ヤマユリ植栽普及会への各種お問い合わせ、およびヤマユリ通信の記事内容についてのご照会は左記までお願いいたします。

●事務局 ☎090・2565・3390 事務局長 山田 栄二

☆ 編集責任 高橋 雄介

に設置された当会の紹介ページで活動報告を発信してまいります。

※区役所HPのトップページ、画面右端にある上記のバナーをクリックすると、閲覧できます。